



編集・発行  
東金市 ボランティアセンター  
〒283-0005



東金市 田間421番地  
ふれあいセンター 2F  
☎ 0475-52-5198  
FAX 0475-52-8227

togane.shakyo@cronos.ocn.ne.jp  
http://www.togane-shakyo.jp/

ボラセンだより 第29号 2013年 2月発行



新たな絆づくりとボランティア活動  
千葉県ボランティアのつどい  
開催されました。

毎年一月に実施されている千葉県ボランティアの集い、今年一月十三日から十四日にかけて、鴨川館で実施されました。今回の集いのテーマは「人と地域の絆・結びつき」です。地域におけるつながりの希薄化が問題となっている近年、このテーマは避けては通れないものだったのかもしれない。

記念講演では、「新たな絆づくりとボランティア活動」というテーマで、大阪ボランティア協会の早瀬昇氏から講演がありました。ボランティア活動が基礎となり、公的サービスのなくなったものの事例紹介からはじまり、一年の今年の漢字ともなった「絆」の難しさ：中国語では「束縛」を意味するように、つながりの良い面と、心情的な部分での束縛という負の面があるそうです。

後半は具体的な活動の話。ボランティア活動において、活動者と依頼者との関係が対等になることの難しさがあるが、「つづけること」「あたえること」も、ともにボランティアであるということでした。

最後に、頑張り過ぎて燃え尽きないために、どうボランティアに取り組んでいくのかについてのアドバイスがありました。「孤立をしない事、愛されることも大事だが、愛することはもっと大切」だそうです。話は、ボランティア活動をする上でとても興味深いものでした。今年も東金市からの参加者はありませんでしたが、来年は仲間を誘い、参加してみませんか？



カトレアの会 齋藤寿美子 



ガイド体験では、実際視覚障害者をガイドしたことで、今度街で白杖をついている人に会ったらガイドしたいという子供たちの感想もありました。私たちも、歩く速度や、曲がり角で視覚障害者の

東小学校から社協を通して依頼があり、1月21日に「視覚障害者ってどんな人？」というテーマで仲間と一緒にお話と視覚障害者のガイド体験の授業をしてきました。視覚障害者の70%が少しは見えている人ということ。障害者支援や電気製品などの音声ガイドなどの普及で工夫して生活していること。点字や四感を使い、楽しく生活していること。盲導犬が仕事の時、盲導犬に声をかけず、ユーザーに声をかけることなどをお話しました。音声ガイドの見本として携帯電話で「携帯君」があたかも話しているように聞こえたようで、子供たちは興味を持ち、点字の新聞を配った時は、暗号文をもらったような興味を感じていたようです。

ことを気かけながら子供たちがガイドしてくれたことが嬉しかったです。

よく「目が見えないことは不幸ではないですか」と聞かれますが、私は見える見えない関係なく、どんな人でも、自分のできることを考えていける人は幸せだと思います。子供たちにも宇宙の法則のような変えられないことに意識を向けるのではなく、変えられること、変えられそうなことを見つけてほしいと思います。私が子供たちの前でお話することで、「障害があっても生きている限りできることがあり、それは自分の気持ちしだいで自分が選択していける」ということを感じてもらえたら嬉しいです。そしてそれを伝えることが私たち障害者の役目ではないでしょうか。

# 掲示板



## 助成情報

### 赤い羽根災害ボランティア

#### NPO活動サポート基金

(福)中央共同募金会  
東日本大震災の被災地等で活動するボランティアグループNPOへの活動支援のための助成



### ※詳細は

ボランティアセンターまで



プルタブ・古切手・使用済みテレホンカードを集めています!!

ボランティアセンターでは、これから収集ボランティアをお願いしています。集められたものは換金し、車いすの購入等に充てさせていただきます。



## 参加者募集

### ボランティア交流会 センター説明会



### くらしの講演会「医療と福祉を地域でつなごう！」

安心して住み慣れた地域で在宅生活が過ごせるよう、話し合いの場をつくり、連携強化に向けた取り組みを考えていきます。



とき 4月20日(土) 10時~12時  
ところ ふれあいセンター多目的室

とき 3月10日(日) 午後1時~  
ところ ふれあいセンター多目的室  
※申込み不要です。

- ボランティア交流会  
講演「旭市仮設住宅でのサロン活動(仮)」  
講師 城西国際大学 松下やえ子先生
- センター説明会

- 基調講演  
「がんになる前に知っておきたい医療のこと」  
講師 篠原靖志先生(さんむ医療センター副院長)
- パネルディスカッション  
「がんや糖尿病の病気を抱えて、住み慣れた地域で過ごせるように」

## ボランティア募集

### ★おもちゃの図書館

「とんとん」

障がいがあってもなくても、おもちゃを通してボランティアやお母さん達みんなと一緒に遊びます。

日時：毎月第一土曜 13時~15時  
場所：ふれあいセンター1階

内容：おもちゃの準備、片付け  
子どもたちの遊び相手

問合せ 社会福祉協議会

### ★レレ&カホン

老人ホームやグループホームでの慰問演奏を行っています。昭和歌謡好きな女性ボーカル、アコギ仲間を探しています。「恋の季節」「天使の誘惑」など昭和40年代のノリの良い曲を主に練習しています。

練習日：主に日曜日

午後1時から、月2回程度  
場所：公平公民館など  
問合せ：岩崎

090-8026-8092



東金市  
社会福祉協議会

52-5198



### ボランティアセンターから



「ボラセンだより」第29号いかがでしたか？ご意見や感想をぜひお聞かせ下さい。「お知らせ」や「情報」などの原稿もお待ちしています。  
東金市ボランティア・市民活動センター  
☎ 0475-52-5198 FAX 0475-52-8227

感想やお便りはメールでもOK!です。  
togane.shakyo@cronos.ocn.ne.jp



少しでも環境に貢献出来ればと「太陽光発電パネル」を設置しました。日当たりや周囲の建物にも左右されますが、どの程度の発電をするのか楽しみです。発電し余剰の電気は電気会社に売電。日中の発電中は少しでも売電しようと、何かと節電することに。電気に興味を持ち、家中を見回し無駄な電気を使わなくなりそうです。実はこの行動が一番の環境貢献の効果になるのではないのでしょうか。限りある資源、未来の子供たちに少しでも残してあげたいですね。  
(PCCO)